

子どもの定期予防接種の接種年齢及び接種間隔

接種対象年齢および接種間隔は必ず守ってください。法定外となり有料になります。

●BCG（結核）、麻しん風しん（MR）、水痘ワクチン接種後に同じワクチン以外のBCG、麻しん風しん（MR）、水痘ワクチンを接種する場合、接種間隔を27日以上あける必要があります。

種類	対象年齢	標準的な接種期間	回数	接種間隔	注意点
RSウイルスワクチン 【母子免疫ワクチン】	妊娠28週0日～ 36週6日		1回 (妊娠ごとに)		生まれてくる子どもの感染予防を目的とした妊婦さんを対象とするワクチンです。 接種後14日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから、妊娠39週に至るまでの間に妊娠終了を予定している場合、その14日前までに接種を完了させることが望ましいです。
B型肝炎	初回 1歳の誕生日の前日	生後2か月～9か月に至るまでの期間	2回	27日以上	対象者から除外される児 HIVs抗原陽性の母親からの出生で、B型肝炎ウイルスに感染したおそれのある児であって、抗HIVs入免疫グロブリンの投与に併せて、組み換え洗滌B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある児は、定期接種の対象者から除きます。
	追加		1回	1回目の注射から139日以上	
ロタウイルスワクチン	《ロタリックス》 出生6週～ 24週	初回接種開始は生後2か月に至った日から14週6日後まで(注)	2回	27日以上	対象から除外される児 ・腸重積症の既往歴があることが明らかな児 ・先天性消化管障がい有する児 ・重症複合免疫不全症の所見が認められる児 飲むワクチン（経口接種）です。少し空腹感があるほうがワクチン接種を受けやすいです。 接種後吐き出した場合でも再度の接種は必要ありません。ワクチン接種後は便の中にウイルスが排出されることがまれにあります。接種後7～10日間はオムツ交換後しっかりと手洗いをしてください。 接種後1～2週間は腸重積症の症状に注意する必要があります。「突然激しく泣く」「機嫌が悪かったり悪かったりを繰り返す」「嘔吐する」「血便がでる」「ぐったりして顔色が悪い」などの症状が見られたら医師にご相談ください。 (注) 15週0日を超えての初回接種は安全性が確立されていないためお勧めしておりません。
	《ロタテック》 出生6週～ 32週		3回	27日以上	
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月～5歳の誕生日の前日	追加接種は、1歳～1歳3か月に至るまで	〔初回接種開始が生後2か月～7か月未満〕 初回：3回 追加：1回	初回接種(3回) 生後24か月に至るまでの間に27日以上 追加接種(1回) 初回接種終了後、60日以上の間隔を置いて、生後12か月に至った日以降 【標準的には生後12か月～15か月に至るまでの間で、初回接種終了後60日以上の間隔を置いて後生後12か月に至った日以降】	初回接種のうち2回目及び3回目の注射は、生後24か月に至るまでに行うこととし、それを超えた場合は行いません(追加接種は可能)。 また、初回接種のうち2回目の注射は生後12か月に至るまでに行うこととし、それを超えた場合は、初回接種のうち3回目の注射は行いません(追加接種は可能)。
			〔初回接種開始が生後7か月～12か月未満〕 初回：2回 追加：1回	初回接種(2回) 生後24か月に至るまでの間に27日以上 追加接種(1回) 初回接種終了後、60日以上の間隔を置いて、生後12か月に至った日以降	初回接種のうち2回目の注射は、生後24か月に至るまでに行うこととし、それを超えた場合は行いません(追加接種は可能)
			〔初回接種開始が1歳～2歳未満〕 2回	60日以上	
			〔初回接種開始が2歳～5歳未満〕 1回		
【五種混合】ジフテリア百日せき破傷風不活化ポリオヒブ	初回	生後2か月～7か月に至るまでの期間	3回	20日以上 【標準的には20～56日】	令和6年4月1日より、四種混合+ヒブワクチンが一緒になった五種混合ワクチンが定期接種対象ワクチンとして追加になりました。四種混合ワクチンで接種していた方は五種混合に切り替えて残りの回数を接種してください。四種混合からの切り替え方は医師にご相談ください。
	追加	生後2か月～7歳6か月の前日	1回	初回接種(3回)終了後、6か月以上 【標準的には6～18か月】	
BCG(結核)	1歳の誕生日の前日	生後5か月～8か月に達するまでの期間	1回		


下記に該当する方は、接種を受ける前に飯塚市の届定を受ける必要があります。担当課へご相談ください。

【長期療養により定期予防接種の機会を逃した方】

長期にわたり療養を必要とする疾病にかかった方等、特別の事情があることにより接種対象年齢であった間に定期予防接種を受けることができなかつた方は、接種対象年齢を過ぎても定期予防接種を受けることができる場合があります。

【骨髄移植や化学療法等により定期予防接種の免疫を失った方】

定期予防接種にて獲得した免疫が、骨髄移植や化学療法等の医療行為により低下または消失したと医師に判断され、再度予防接種を受ける場合の費用を助成します。

種類	対象年齢	標準的な接種期間	回数	接種間隔	注意点
麻疹風しん(MR)	第1期	1歳～2歳の誕生日の前日	1回		1歳になったらなるべく早く第1期の予防接種を受けるように努めてください。
	第2期	令和2年4月2日～令和3年4月1日生(年長児)	1回		令和8年4月1日～令和9年3月31日まで無料(期間を超えると任意接種となり有料)
	特例	令和4年4月2日～令和5年4月1日生のお子さんとMR第1期の接種がお済でない場合は、令和9年3月31日まで定期の予防接種として、無料で接種できます。 平成30年4月2日～平成31年4月1日生のお子さんでMR第2期の接種がお済でない場合は、令和9年3月31日までの定期の予防接種として、無料で接種できます。			
水痘(水ぼうそう)	1歳～3歳の誕生日の前日	1回目の接種は1歳～1歳3か月に達するまで。2回目の接種は、1回目の接種終了後6か月～12か月までの間隔をおく。	2回	3か月以上【標準的には6～12か月】	
日本脳炎	第1期	生後6か月～7歳6か月の前日	2回	6日以上【標準的には6～28日】	接種量 (3歳以上)各0.5ml (3歳未満)各0.25ml
	追加第1期	4歳～5歳に達するまでの期間	1回	第1期初回接種終了後、6か月以上【標準的にはおおむね1年を経過した時期】	
	第2期	9歳～13歳の誕生日の前日	1回	9歳～10歳に達するまでの期間	
	特例	平成7年4月2日～平成19年4月1日に生まれた方で日本脳炎予防接種が完了していない場合については20歳未満(20歳の誕生日の前日)までの間、1期・2期の不足分(合計4回分)を定期の予防接種として、無料で接種できます。該当されるお子さんは、親子(母子)健康手帳で接種回数を確認してください。接種履歴が不明の場合はお問い合わせください。			
【二種混合】ジフテリア破傷風	11歳～13歳の誕生日の前日	11歳～12歳に達するまでの期間	1回		
HPV(子宮頸がん予防)	小学6年生～高校1年生相当年齢の女子(平成22年4月2日～平成27年4月1日生まれ)	13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間(中学1年生相当)	3回	2か月の間隔を置いて2回接種後、1回目の接種から6か月の間隔を置いて1回接種。この間隔で接種できなかった場合は、1か月以上の間隔を置いて2回接種後、2回目の接種から3か月以上の間隔を置いて1回接種。	令和8年4月1日から定期予防接種で使用するワクチンはシルガード9のみとなりました。2価、4価ワクチンで1回目、2回目を接種している場合は残りの接種はシルガード9を使用します。 
			2回	《シルガード9ワクチンの初回接種を15歳の誕生日前日までに接種した場合に限り》6か月の間隔を置いて2回接種。この間隔で接種できなかった場合は、5か月以上の間隔を置いて2回接種。	

※原則保護者の同伴が必要ですが、日本脳炎とHPV、RSウイルスについては、13歳以上16歳未満の方で、下記①～③の要件を満たした場合、保護者が同伴しなくても接種を受けることができます。

- ① 市町から配られる説明書を保護者が事前に読み、予防接種の効果や副作用について理解していること。
- ② 保護者が予診票に必要事項を記入すること。
- ③ 保護者が予診票の保護者自署欄と予診票裏面の同意欄に自筆で必要事項を記入すること。

※16歳以上の方は保護者の同意がなくても予防接種を受けることができます。
※医療機関によっては保護者同伴を要件としている場合がありますので、予約時にご確認ください。

接種時の注意事項

- ① 予防接種はお子さんの体調の良い時に受けるようにしましょう。
- ② 「予防接種と子どもの健康」をよく読んで予防接種の効果や副反応を理解して受けましょう。
- ③ 親子(母子)健康手帳は必ず持って行きましょう。
- ④ 予診票は、接種する医師への大切な情報です。責任をもって記入しましょう。
- ⑤ お子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者が連れて行きましょう。

事前に医師に相談すること

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障がいなどで治療を受けているお子さん
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられたお子さん及び、発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられたお子さん
- ③ 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがあるお子さん
- ④ 過去に免疫不全の診断がされているお子さん及び近親者に先天性免疫不全者の方がいるお子さん
- ⑤ ワクチンの成分にアレルギーがあるとされたことのあるお子さん
- ⑥ ラテックス過敏症のお子さん
- ⑦ BCG接種の場合においては、家族に結核患者がいて長期に接触があったお子さん
- ⑧ 腸重積症にかかったことがあるお子さん

詳細や最新情報は
飯塚市ホームページで
ご確認ください。

